



現場オペレーターの深谷さまが証言!

## ココに満足!



いいね!

実際に操作をしていて、オペレーターの負担軽減について配慮されていることがよくわかります。例えばキャビンが前後にスライド。最も前にあるときは視界が開けて安全な走行につながりますし、後方にあるときはスプレッダーの状態が確認しやすく、高い場所のコンテナの積み下ろしがとてもしやすいです。コンテナを下ろすときの衝撃を和らげるソフトランディング機能が付いているのもいいですね。



キャビンが前後に移動することで最適視界を確保

営業担当

北関東TCM株式会社  
佐野営業所 所長

しげや なおひさ  
深谷 尚久



グレードアップしたリーチスタッカー!!  
“内陸の港”の機能を守る  
優れた積付能力と充実の安全装備

昨年、2台目のリーチスタッカーを新規導入された佐々木部長に、使用感や作業性能についてお話を伺いました。

リーチスタッカーMR4531-3

## DESIGN 3

インランドデポを拠点に  
コンテナ物流の未来を創る



吉田運送株式会社  
本社・坂東コンテナターミナルさま  
所在地 茨城県坂東市半谷224-15

1973年に創業。現在、インランドデポ※1運営で大きな注目を浴びている。2008年にコンテナラウンドユース事業※2を開始し、2017年に佐野市所有の「佐野インランドポート」の指定管理者となる。東京湾・横浜港への渋滞回避、CO<sub>2</sub>削減、ドライバー不足などの課題解決に期待が寄せられている。



※コンテナ内に製品を保管する「コンテナ預かりサービス」、コンテナのオフィスなどへの利活用を提案する「アンドコンテナプラス」も展開。

※1 インランドデポ=国際海上輸送で用いられる海上コンテナの保管や積み替えを行う内陸のコンテナヤード  
※2 コンテナラウンドユース事業=輸入で使用したコンテナをコンテナヤードに返却せずに一時保管。輸出とのマッチングを回り継続使用する事業



海外製は視野に入れていなかったですし、先に「佐野インランドポート」で導入されていてオペレーターからも高評価でしたので、ここでも迷うことなく三菱ロジスネクスト製に決めました。

新しいタイプのリーチスタッカーで特に優れているのは安全性だと思います。例えば「リフトインターロック」によって、スプレッダー4カ所すべてのツイストロックが完全にロックされているときのみコンテナの吊り上げが可能。「ツイストインターロック」では、コンテナを完全に下ろした状態で初めてツイストロックが解除されます。また、尿素SCRシステムによって排出ガスに含まれる窒素酸化物を大幅に低減することも聞いていますが、これはSDGsへの貢献を掲げる当社にとっても大きなポイントです。

三菱ロジスネクストさんのサービスマンは定期的に点検にきてくれますし、先を見越して「そろそろタイヤを変えましょうか」などの確なアドバイスをくれます。リーチスタッカーとともに、私たちに安心して頼りになる存在です。

当社は2008年にコンテナラウンドユース事業をスタートさせました。リーチスタッカーは大型の輸送用コンテナを積み下ろしするハイパワースペシャル搬送車両です。2018年の「坂東コンテナターミナル」開設を機に1台目を導入。これまでは空コンテナのみを取り扱っていましたが、リーチスタッカーの導入で、実入りコンテナの取り扱いも可能になりました。

そして2022年9月に2台目を導入。新規導入したのは、ターミナルの敷地が広がったこと、需要の高まりに備えて、佐野、坂東に続く第3のインランドデポ開設を視野に入れ、2台のうち1台をそこで活用することを考えたからです。

現在、リーチスタッカーを製造している国内のメーカーは三菱ロジスネクストさんだけなんです。もともとアフターサービスのことなども考え

当社にとって  
理想に近い  
リーチスタッカーです

お話を伺った方

輸送部兼アンドコンテナ事業部  
部長

ささき ゆう  
佐々木 悠さま

